

石川から政権交代の声を大きくあげよう!

藤野やすふみ衆議院議員

“宝の議席” 引き続き国会へ

先の通常国会では、黒川検事総長の定年延長法案を廃案に追い込む歴史的なたたかいが、市民と野党の共闘で展開されました。審議した法務委員会で毎回、論戦をリードしたのが藤野議員です。

今後の国会では、ジェンダー平等の重要課題である強制性交罪に関わる刑法改正案が審議される予定です。引き続き大きな役割が期待されています。

コロナ対策や原発問題の論戦でも欠かせない存在です。



学術会議人事への介入は「学問の自由を侵害した、戦前の反省に立ってつくられた憲法を踏みとじるもの」「総選挙で審判を！」
(10月17日、金沢市武蔵が辻で力強く訴える藤野議員)



6月、緊急事態宣言後、初の“リアル集い”で金沢入り。女性、医療青年など4つのつどいに参加し、コロナ問題などでたくさんの切実な声を聞きました。

石川で57,000票を獲得し、北信越ブロックの比例で現有1議席を絶対確保！さらに2議席をめざします。

「比例は日本共産党」支持をひろげてください!

総選挙では2つの投票があります

制度解説

- 比例代表では、「日本共産党」とお書きください。
(個人名を書くと無効になります)
- 選挙区では、統一候補または日本共産党候補の名前をお書きください。

日本共産党の「7つの提案」

コロナ危機対応に失敗し、内政・外交ともにゆきづまって政権を投げ出した安倍首相。ところが菅新政権は、この政治を「全面的に継承する」と宣言しています。

コロナ禍を経験し、新しい社会がもとめられているとき、古い政治の継承はありえません。日本共産党は、コロナ危機を克服して、新しい政治へ「7つの提案」をしています。

新しい政治を大いに語りましょう!



ケアに手厚い社会へ 医療、介護、保育…命を守る労働を大切に

いのちをまもる医療福祉関係の従事者の低賃金・長時間労働・人手不足の改善を

人間らしく働けるルールを 8時間働けば普通に暮らせる社会に

コロナ禍で苦しむ派遣、アルバイトなどの非正規雇用労働者。労働者の権利が守られるルールを

一人ひとりの学びを保障する 子どもたちに少人数学級のプレゼントを

コロナ禍で学生生活の危機は深刻。教育予算をOECD なみに引きあげ、学費を半分に

危機にゆとりある強い経済を 格差をただし、家計応援の経済政策に

内需と家計を犠牲にしなから“外需だのみ”“インバウンドだのみ”の経済の弱さがあらわに

科学の尊重、信頼の政治を 科学的知見にもとづいたコロナ対策を

全国一律休校要請、「アベノマスク」など、混乱をまねいた思いつきのコロナ対策からの転換を

文化・芸術を大切にする 人間が生きていく不可欠のものとして支援

“フランス9の1、韓国の10分の1”しかない日本の文化予算の大幅な増額を

ジェンダー平等を コロナ危機の対応に、この視点をつらぬいて

世界男女格差指数は153カ国中121位。ジェンダー差別のない国を



2021年の中間地方選挙(白山、かほく、羽咋、加賀、能美、七尾市)で勝利を

2021年は6市で連続して市議会議員選挙が行われます。白山2月、かほく4月、羽咋8月、加賀・能美・七尾10月の予定です。コロナ禍で発揮された住民に寄り添い、その声を議会に届ける草の根の力、かけがえのない議席です。必ず勝利しましょう。